

know how 1 ◆ 1 月 2 月 3 月 4 月 5 月 6 月 7 月 8 月 9 月 10 月 11 月 12 月

まずはそれぞれの時期にどう言ったスーツを着れば良いのか？というお話なのですが、イルサルトのオススメはコチラです。

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
秋冬物			春夏物						秋冬物		

1年を大きく春夏物と秋冬物を着る時期の2つに分け、3月と9月の年に2回衣替えをするのをオススメしています。厳密に言うと春夏秋冬の4つに分かれ、私は年4回の衣替えをするのですが、これは私が洋服屋であるからです。一般の方は年に2回の衣替えで十分です。そしてこの衣替えは日本独特なもの、季節の変化を装いでも愛でようと平安時代から始まったものなのです。中には一年中同じような服を着ている方もいらっしゃいます。折角四季のある日本に生まれたのは幸運なことなので、季節の変化を是非装いでも楽しんで下さい！日々余裕が無いとなかなか季節の変化を感じる事が出来ません、季節に応じた旬の食材を取って選ぶ、四季折々の植物、蝉の声など意識的に感じるようにすることで変化により敏感になる事が出来るのです。季節感を出すために素材感が大切なのですが、春夏シーズンでは清涼感が有り涼し気な印象を与えるリネン(麻)やモヘア混のウールやシルク、秋冬シーズンでは暖かい印象を与えるカシミアやフランネル素材を選ばれるのをオススメします。

know how 2 ◆ 1 月 2 月 3 月 4 月 5 月 6 月 7 月 8 月 9 月 10 月 11 月 12 月

アイテムやご注文を頂く時期により違いはあるのですが、イルサルトではご注文～お渡しまで約1～2カ月頂いております。よくお客様に言われるのが“頼もうと思っていたらもう遅かった！”と言うお声なのです。オーダーでご注文頂く場合は早め準備をすることが大切ですのでいつ何を注文すれば良いのかをまとめましたので参考してみてください。

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
春物スーツ スプリングコート		夏物スーツ				秋物スーツ		冬物スーツ コート			春物スーツ スプリングコート

know how 3 ◆ 1 月 2 月 3 月 4 月 5 月 6 月 7 月 8 月 9 月 10 月 11 月 12 月

フェイスブック等にお客様の写真を良く掲載しているのですがそんな時に言われるのが“そんなのも出来るのですか？！”等のご質問なのです。ビジネスに関わるものはほぼオーダーでお仕立てをさせて頂けるのですが、イルサルトでご注文可能なアイテムを再度まとめさせていただきます。

- ・スーツ ・スリーピース ・コート ・スプリングコート ・タキシード ・単品ジャケット ・単品パンツ
- ・単品ベスト ・お子様用スーツ ・成人式用スーツ ・靴 ・ベルト ・ネクタイ ・ポケットチーフ



know how 4 ◆ 1 月 2 月 3 月 4 月 5 月 6 月 7 月 8 月 9 月 10 月 11 月 12 月

ビジネスマン生活が長くなるとクローゼットの中の服はどんどん増えていきます。大掃除をする際に「こんな服もそういえば有ったなあー」と思ったことのある方も多いのではないのでしょうか。クローゼットの中にどんな服が入っているのか？瞬時に言える方はなかなかいないのではないかと思います。イルサルトの考える理想のクローゼットはこちらです。

- その季節に着るものだけが入っている
- クローゼットに入っている服全てが一張羅
- スーツ、シャツ、ネクタイなどそれぞれのアイテムごとに分けられている
- 何がどこにあるかを全て把握出来ている
- 並んでいる順番に着ていくだけ

その季節に着るものだけが入っているだけで、服選びに費やす時間は劇的に減らすことが出来ます。選択肢が少ないほど迷わないからです。クローゼットの大きさは人それぞれ違いますが、預かりサービスをしているクリーニング屋もありますのでそんなサービスを上手く使うことでクローゼットに入っている服を少しでも減らす様にしてください。クローゼットに入っている服が増えれば増えるほど、何が何処にあるのか分からない、何を着るのか迷ってしまう、ギューギューに入りすぎてシワシワになってしまい服にとって良いことは一つもありません。その時期に着る服だけが入っていて、左から順番に月曜～日曜までの服を着ていくだけ。これが経営者の理想のクローゼットです。

know how 5 ◆ 1 月 2 月 3 月 4 月 5 月 6 月 7 月 8 月 9 月 10 月 11 月 12 月

経営者にとっては毎日が「ここぞと言った場面」です。どうでもいい日なんて1日もありません、毎日を最高のコンディションで全力で生き切る、すべきこと出来ることを愚直に継続してやり続けることが成功する経営者にとっては必要不可欠なことです。そういう意味で経営者は毎日最高のパフォーマンスの出来る一張羅を着るべき私はそう考えています。値段の高い服ほど費用対効果を上げるためにどんどん着る、服にも働いてもらい元を取ると言う意識を持つことです。まさに投資感覚そのものです。そして着ることによって最初は自分でも着慣れなかったものが徐々に自分のものになり、自分に相応しい服になっていくのです。

